

東京医科大学病院 聴覚・人工内耳センター

人工内耳1,000症例祝賀会！

【難聴】～生活・就職の問題点と対策～

参加費
無料
申込み
不要

[日時] ▶▶▶ 6月22日(土) 13:00～17:00

[会場] ▶▶▶ 東京医科大学病院
6階・臨床講堂

(東京都新宿区西新宿6-7-1) [裏面をご覧ください](#)

プログラム

- 1 : 人工内耳の現状と問題点の話 (メーカー3社)
- 2 : 患者さんの話
- 3 : 白井杏湖医師 (東京医科大学) : 当科1000例の経験から
--- 休憩 ---
- 4 : 戸田重央様 (障がい者総合研究所 所長)
: 聴覚障害者を中心とした障害者の就労の現状と問題点
- 5 : 斎藤りえ様 : 聴覚障害者への対策の現状と今後

会終了後に懇親会を行います。参加費無料

会場には情報保障 (磁気ループ・要約筆記) を用意しております

事前申込みなしでもご参加いただけます。

当日の混雑状況によりご着席いただけない場合もございます。

お席の確保をご希望の場合は右記QRコードよりメールでお申込みください。

問い合わせ先 : FAX: 03-3784-9520 Mail: mocomo28@m6.dion.ne.jp



主催 : 東京医科大学病院 聴覚・人工内耳センター

協賛 : 日本光電工業株式会社 日本コクレア社 メドエルジャパン株式会社

【ご 案 内】

東京医科大学病院では、
1985年(昭和60年)12月本邦最初のコクレア社製の、
人工内耳埋め込み術を施行して以来33年、
今年2月に1,000例になりました。

その歴史の中には様々なことがありました。
小さいときに手術して、就職した人は100人以上、
大学相当年齢は150人以上になりました。

多くの方が人工内耳を有効に使用され生活を、
有意義に過ごされていることかと思えます。
とは言え、人工内耳を使用しても十分に聞こえず、
社会生活で困ることは多々あるのも事実です。

このような状況において、
今回、「東京医科大学 人工内耳1,000例記念祝賀会
(生活・就職の問題点と対策)」を開催する運びとなりました。
開会にあたっては、人工内耳のみではなく、
広く聴覚障害者の就労と生活の現状と課題も含めて、
表記のプログラムでお話ししていただくこととしました。
人工内耳の歴史を担う機器の面からの話を3メーカーの方に、
実際の人工内耳使用経験を成人、お子様(本人)、
お子様の親御様に、

そして最後に現在の人工内耳装用者の、
生活・就職の問題点および今後の社会的な整備などについて、
人工内耳を含めた難聴者について考える機会にしたいと考えました。
つきましては、ご興味ある方には是非ご参加いただきたくご案内いたします。



会場案内地図



東京医科大学病院
(新病棟棟 2019年7月開院)

- ◀ 徒歩 5分 東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅下車(東京医科大学病院前)
出口 E5 エスカレーターをのぼると正面玄関に出ます(地下道)
出口 2 改札を出て右側(エレベーターが乗ります)
- ◀ 徒歩 7分 都営大江戸線 新大塚駅 銀行前駅から徒歩(地下道)
- ◀ 徒歩 10分 都営大江戸線 新大塚駅 西口から徒歩
- ◀ 徒歩 14分 西武新宿線 西武新宿駅から徒歩
- ◀ バス 3分 新宿駅 西口からバス
- ◀ 都営バス 「東京医科大学病院」下車
※ 西のりば 「王子駅行」 ※ 西のりば 「新大塚駅行」 ※ 西のりば 「杉並車庫行」
- ◀ 西武バス 「東京医科大学病院」下車
※ 西のりば 「西武百貨店前駅行」
- ◀ 京王バス 「新大塚駅」下車
※ 西のりば 「西武百貨店」 ※ 西のりば 「京王線行」 ※ 西のりば 「京王線行」 ※ 西のりば 「京王線行」